

## 一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令試験問題

下記の問題は一般旅客自動車運送事業に関する記述です。  
正しいものには○、誤っているものには×を回答欄に記入して下さい。  
また、( ) 内にあてはまる語句を、下のA, B, Cから選んで回答欄に記号で記入して下さい。

1. 道路運送法の一般貸切旅客自動車運送事業は、一個の契約により乗車定員11人以上の自動車を貸し切って旅客を運送する事業である。

### 道路運送法第3条

回答 ( ○ )

2. 貸切バス事業を営むためには、道路運送法に規定されている一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けなければならない。

### 道路運送法第4条

回答 ( ○ )

3. 一般旅客自動車運送事業又は特定旅客自動車運送事業の許可の取消しを受け、その取消しの日から3年を経過していない者に対しては、国土交通大臣は一般貸切旅客自動車運送事業の許可をしてはならない。

### 道路運送法第7条

回答 ( × )

4. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、五年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。

### 道路運送法第8条

回答 ( ○ )

5. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の運賃及び料金の上限を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

### 道路運送法第9条の2

回答 ( × )

6. 一般貸切旅客自動車運送事業の運送約款には、運賃及び料金の收受並びに事業者の責任に関する事項を定める必要はない。

### 道路運送法第11条

回答 ( × )

7. 一般旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに運送約款を公示しなければならないが、貸切バス事業者は例外とされている。

### 道路運送法第12条

回答 ( × )

8. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業計画のうち自動車車庫の位置又は収容能力を変更しようとするときは、認可を受けなければならない。

### 道路運送法第15条

回答 ( ○ )

9. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、発地及び着地のいずれもがその営業区域外に存する旅客の運送をしてはならない。

### 道路運送法第20条

回答 ( ○ )

10. 一般旅客自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。

### 道路運送法第22条

回答 ( ○ )

- 1 1. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、安全管理規程を定め、国土交通省令で定めるところにより、国土交通大臣に届け出なければならない。

**道路運送法第 2 2 条の 2**

回答 ( ○ )

- 1 2. 貸切バスの営業所が複数ある場合、本社に統括する運行管理者を配置すると、営業所ごとに運行管理者を選任する必要はない。

**道路運送法第 2 3 条**

回答 ( × )

- 1 3. 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。

**道路運送法第 3 0 条**

回答 ( ○ )

- 1 4. 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に一般旅客自動車運送事業のため利用させてはならないことが道路運送法に規定されているが、貸切バス事業者については当該規定は適用されない。

**道路運送法第 3 3 条**

回答 ( × )

- 1 5. 一般旅客自動車運送事業者が死亡した場合において、相続人が被相続人の経営していた一般旅客自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後 9 0 日以内に、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

**道路運送法第 3 7 条**

回答 ( × )

- 1 6. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その事業を休止しようとするときは、その 3 0 日前までに届け出なければならない。

**道路運送法第 3 8 条**

回答 ( ○ )

- 1 7. 一般貸切旅客自動車運送事業者が許可に付された条件に違反したときは、許可の取り消しを受ける場合がある。

**道路運送法第 4 0 条**

回答 ( ○ )

- 1 8. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、一般貸切旅客自動車運送適正化機関から負担金の納付に係る通知があった場合は、負担金を納付しなければならない。

**道路運送法第 4 3 条の 1 5**

回答 ( ○ )

- 1 9. 国土交通大臣は、必要な限度において道路運送事業者、自家用有償旅客運送者その他自動車を所有し、若しくは使用する者又はこれらの者の組織する団体に、国土交通省令で定める手続きに従い、事業、自家用有償旅客運送の業務又は自動車の所有若しくは使用に関し、報告をさせることができる。

**道路運送法第 9 4 条**

回答 ( ○ )

- 2 0. 事業用自動車の乗務員の休憩、仮眠又は睡眠のための施設を変更した場合、遅滞なく、届出しなければならない。

**道路運送法施行規則第 6 6 条**

回答 ( ○ )

21. 道路運送法関係法令では、旅客自動車運送事業者は旅客に対して公平かつ懇切な取扱いをしなければならないと規定されているが、旅客以外の公衆に対する取扱いは定められていない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第2条** 回答 ( × )

22. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送の申込者に対して当該運送の引き受けに際し手数料を支払った場合には、その額を記載した書類を、運送引受書の写しとともに、当該運送の終了の日から1年間保存しなければならない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第7条の2** 回答 ( ○ )

23. 旅客自動車運送事業者は、乗務しようとする運転者に対して点呼を行い、事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示を与えなければならない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第24条** 回答 ( ○ )

24. 日々雇い入れられる者や二月以内の期間を定めて使用される者は貸切バスの運転者として選任できない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第36条** 回答 ( ○ )

25. 旅客自動車運送事業者は、運行管理規程を国土交通大臣あて届け出なければならない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第48条の2** 回答 ( × )

26. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款において、事業者は、天災その他事業者の責に帰することができない事由により、輸送の安全の確保のため一時的に運行中止その他の措置をしたとき、これによって旅客が受けた損害を賠償する責任を負わないと定められている。

**一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款** 回答 ( ○ )

27. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、運行の安全面のポイントを分かりやすく示すことにより、単純な価格比較のみで選ぶのではなく、より安全にも留意した選定を促すことを目的としている。

**輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン** 回答 ( ○ )

28. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は、16時間とすること。  
この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は、1週間について2回以内とすること。

**自動車運転者の労働時間等の改善のための基準** 回答 ( ○ )

29. 整備管理者を選任しようとするときは、あらかじめ地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。

**道路運送車両法第52条** 回答 ( × )

30. 自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ、国土交通省令で定めるところにより検査標章を表示しなければ、運行の用に供してはならない。

**道路運送車両法第66条** 回答 ( ○ )

31. 「旅客自動車運送事業」とは、( ) に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。  
A. 自己の目的 B. 自治体等の要請 C. 他人の需要  
**道路運送法第2条** 回答 ( C )

32. 貸切バス事業者の事業計画は、営業区域、主たる事務所及び営業所の名称及び位置、営業所ごとに配置する事業用自動車の数、( ) の位置及び収容能力である。  
A. 休憩睡眠施設 B. 自動車点検施設 C. 自動車車庫  
**道路運送法施行規則第4条** 回答 ( C )

33. 旅客自動車運送事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して( ) 保存しなければならない。  
A. 6か月間 B. 1年間 C. 3年間  
**旅客自動車運送事業運輸規則第3条** 回答 ( B )

34. 乗務記録の保存期間は( ) 間である。  
A. 6ヶ月 B. 1年 C. 2年  
**旅客自動車運送事業運輸規則第25条** 回答 ( B )

35. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において( ) 年間保存しなければならない。  
A. 1 B. 3 C. 5 回答 ( B )  
**旅客自動車運送事業運輸規則第26条の2**

36. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、( ) ごとに運行指示書を作成しなければならない。  
A. 運転者 B. 車両 C. 運行  
**旅客自動車運送事業運輸規則第28条の2** 回答 ( C )

37. 旅客自動車運送事業者は、乗務員が事業用自動車の運行の安全の確保のために遵守すべき事項及び乗務員の( ) についての規律を定めなければならない。  
A. 接遇 B. 運転技術 C. 服務  
**旅客自動車運送事業運輸規則第41条** 回答 ( C )

38. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を( ) しなければならない。  
A. 常に清潔に保持 B. 可能な限り清潔に C. 運行のたびに清潔に  
**旅客自動車運送事業運輸規則第44条** 回答 ( A )

39. 一般貸切旅客自動車運送事業者に用いる事業用自動車は、( ) ごとに定期点検整備を実施しなければならない。  
A. 1ヶ月 B. 3ヶ月 C. 6ヶ月  
**道路運送車両法第48条** 回答 ( B )

40. 旅客自動車運送事業者は、輸送実績報告書を毎年( ) までに行政庁に提出しなければならない。  
A. 4月30日 B. 5月31日 C. 6月30日  
**旅客自動車運送事業等報告規則** 回答 ( B )

【事業者名： 役職： 氏名： 】